

高校生いせミライブプロジェクトガイドライン

設置の背景および目的

伊勢市では、第3次伊勢市総合計画において、まちづくりの主要課題に「地域のつながりの再生」をあげ、住民一人ひとりのまちづくりへの参画意識を高め、住民自治と地域活動を促進しています。

人口減少、少子高齢化、生活スタイルの多様化などにより、地域の活動団体や活動者の固定化、後継者不足が課題となっており、若者向けに開かれた施策が求められています。

そこで、これまでまちづくりへの参画が少なかった高校生を対象として、まちづくりプロジェクトチームを結成し、まちづくり活動の楽しさを知ってもらい、活動人口の増加につなげます。また、若者の視点でまちづくりを楽しんでもらうことで、まち自体の活性化につなげます。

高校生いせミライブプロジェクトチームの位置づけ

●高校生いせミライブプロジェクトチーム概要

(1) メンバー候補

市内在住の高校生または市内高校に通う高校生

(2) メンバー任期

1年

(3) 活動拠点

市役所 など

※企画内容に応じて変わります。

(4) 活動時間

放課後、土日祝日など 午前6時00分～午後8時30分の間 ※電車・バスの時間を考慮します。

(5) 活動内容

行政がサポートしながら、既に地域で実践されているまちづくりに参加し、若者の視点からまちを盛り上げていく活動に取り組みます。

(6) 実施(運営)主体

伊勢市(市民交流課)

(7) 運営協力

伊勢市社会福祉協議会 伊勢市ボランティアセンター、いせ市民活動センター

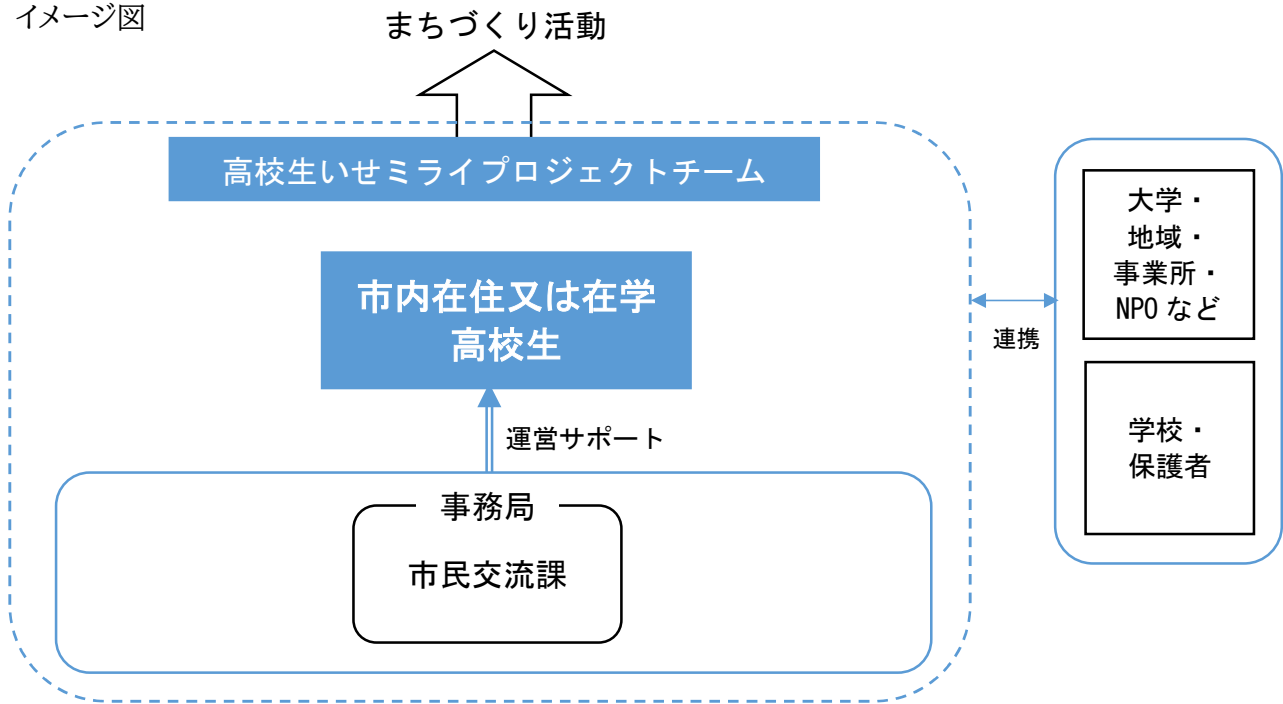
(8) 申し込み方法

市ホームページから申請フォームにて申し込み

(9) 各種対応

活動時における不慮の事故等が生じないよう細心の注意を払います。なお、活動時に起きた怪我などには、伊勢市が加入する保険が適用されます。

イメージ図



●実施体制

- 市民交流課が事務局となり、高校生をサポートします。その他、活動に応じて大学や地域住民、事業所などと連携していきます。
- 活動に関しては、高校生の発想・自主性を尊重しますが、事務局が随時活動を把握し、高校生の活動可能な範囲とします。
- 活動時間中は必要に応じて事務局が帯同します。また、高校生が参加する先の主催団体、事業所、個人などと連絡を密にし、連絡体制を整えておくこととします。

●プライバシーの保護

参加する高校生のプライバシーの保護を最優先します。具体的方策としては、以下のとおりです。

- (1) メンバー単独でのマスコミ等の取材および接触は禁止します。
- (2) メンバーの写真等の取り扱いには細心の注意を払います。
- (3) 活動時間の制限など、その他必要に応じて方策を講じます。

●家庭および学校との連絡体制の構築

高校生いせミライブロジェクトの実施にあたり、メンバーの保護者などとの連絡体制を構築し、密に連携します。具体的方策としては、以下のとおりです。

- (1) 公衆の前に出るような活動が予定されている場合などは、事前に保護者に連絡します。
- (2) 学業および校内活動の優先について、メンバーに対して事前に確認を行います。
- (3) プロジェクトに加入する場合、保護者承諾を得ます。その他、必要であれば在籍する学校にも連絡を取ります。